

玉虎流滑指術

上略の巻

天地陰陽の構

天略宇宙合掌

## 虎 空

敵 右平拳 面に来る

我 左腕にて 敵の右拳受け、忽ち右平刃  
にて 敵の右平星の下を打折る

敵 右足にて 蹴込に来る

我 左足にて 敵の右足下より 蹴り上る

同時に 左手拇指にて 敵胸佛滅に  
当込んで

残心

いん  
拳

こし  
興

敵 右平拳 面部に打込み来る

我 左腕にて受ける

敵 右足蹴込み来る

我 敵の右足を右足にて蹴り上げる

敵 右手にて我片胸捕る

我 右手刀 敵の右両戸を打込んで基の右手首を  
持っている。同時に右足我後方横に引く。

敵の右手を逆捕りにて一寸敵を仰向けに捕え

忽ち変化して左手敵の右平時の処を掴み引く  
のを同時に右手を大きく左方に返すのと再び

右足にて蹴込みて仰向けに倒し左足にて胸部  
を蹴込んで

残 い

## 彈 手

- ・ 敵 我 右袖を左手にて相む  
我 右手一寸先元へ引き右手右に通す  
敵 左手逆となる
  - ・ 敵 右手拳 打込み来る  
我 左手にて敵 右拳受 忽ち左手刀 敵の  
左両戸に打込むのと同時に右足にて敵の  
左足 竹折りに蹴込み 右手逆締め  
敵 仰向けに倒る 右足にて脇を蹴り当て  
残心  
口伝 我 右肘にて受 左肘を落す
- 

## 彈 指

- ・ 敵 左手にて我 片胸を捕る  
我 右手敵の左手表逆捕にす
  - ・ 敵 忽ち右手拳 面部に打込み来る  
我 左腕にて受け 忽ち左手相指にて  
敵の胸に当込む、同時に右足にて  
蹴込むのと 右手逆締め一致
  - ・ 敵 仰向けに倒る  
左足胸蹴り
-

## 逆流

敵 右手拳打込み来る

我 左方に一步体を転い 右腕にて受け

同時に右足蹴込む

敵の右足下より蹴上げ同時に敵の右手を  
左手にて表逆捕りにする

敵 左拳にて水月に当込み来る

敵の左手右腕にて受け 忽ち右手で敵の右首  
雨戸打込み

敵 仰向けに倒れる

左手表逆捕りにて締り逆倒し 右足にて蹴撃

# 鳥 鷗

- ・敵我が両胸捕り来る  
我右足すねにて下段(敵の)に当込むと  
同時に両手にて上より下に敵の両手を  
はたき落す。
- ・敵忽ち右平拳突き来る  
我忽ち左腕にて受け右手刀にて敵の右霞に  
打込む、右足にて胸を蹴込む
- ・敵仰向けに倒る、退いて 残心

## 跳火

- ・ 敵 後方より我が首筋を掴む  
我れ体を左へ払い腰を落し  
右手指先 敵の首筋以つ平掌以小指  
の所に当て掴む
- ・ 敵右足にて蹴込む  
我れ敵の右蹴り足を左腕にて外側に  
受け忍ぶ右手にて敵右手を逆捕りに  
して一度押えて体を転いで右足にて  
蹴り込む
- ・ 敵仰向けに倒れる  
逆平逆して倒す。 残り心

# 今 蘭 倒

- ・ 敵右足にて蹴込み来る  
我れ一寸左足引いて右足敵の右足下り  
蹴り上げる
- ・ 敵かわりて右手拳打ち来る  
我れ左腕にて受け忽ち右手蹴踏平  
にて敵顔面に当込み同時に右足にて  
腕を蹴り倒す
- ・ 敵仰向けに倒れり  
退いて残心



## 指 碎

- ・敵 後方より右手にて首筋を相む  
我れ一寸腰を落し 体を一寸むわり  
右手にて 敵の右耳小指側より相む  
(平引くスキ) 同時に敵腹部を左拳に  
当込む 敵の右手を逆ひきに捕り  
左足充分に引きこ座して投げ
- ・敵仰向けに倒れど  
右足蹴込んて 残心

ツッ  
締

ミカク  
脈

- ・敵 後方より 三角締に来る  
我れ一寸腰を下け左手にて敵の右胸  
一寸持ち右手にて敵 右手肘関節中節  
を相指で痛み入れ隙か出る。  
忽ち荷角投げ  
右足蹴込んて 残心

# 躑 拳

敵後方より羽撃の締めに来り  
我腰と膝し両腕左右に充分張る  
左右手にて敵の左右掌より逆に相打  
相指を手の甲に当てり来、忽ち両手  
持ち左右に広げり。敵の左手下より  
左へのけり

敵仰向けに倒れる

右手だけにて片手逆投け

右足蹴込んで 残り

殺 締

- ・ 敵 後方よりカンヌキ 締めに来る  
我 腰を充分後方に突き出す隙が出来た  
忽ち右手にて敵の右手指先逆捕り  
右方に体をひねり左手拳 後向けに  
敵の面を打ち首に岩を溶して投げる
- ・ 敵仰向けに倒れる  
右足にて蹴り込んで 残心

中略の巻

金天護身合掌

## 鳥 鷲

・敵右平拳打込み来る

我れ左側一方便を転い右腕にて  
受け忽ち 敵の袖を掴み引く

・敵は右足蹴込み来る

我れ右足にて横蹴りに敵の足を受け  
忽ち 右平袖持つ手を上に敵の右手を  
上にあげ

左手袖指にて敵の左横に出し 左手

敵右平首を持って投げ 敵仰向け  
に倒れる。右足蹴込みい 残心

魚青 倒

- ・ 敵右手拳打込み来る  
左腕にて受け
- ・ 敵右足蹴込み来る  
右腕にて受け
- ・ 敵左手拳水月に突き来る  
左腕受け手首を掴むのと忽ち右手蝦蟇平に  
敵顔面に当込む。同時に敵の肩を掴む
- ・ 敵倒れ向けに倒れる。忽ち右足蹴込み  
右足後引き座す。左足にて当込み。死心

ガ  
拵  
シン  
振

敵 右小刀突き来る

左足後方横に充ち引き身体をかめす。同時、  
左手にて敵の右手首を押し持ち、

忽ち右手にて剣をはたき(与刀の如く)

敵 剣は飛ぶ

敵 左足にて蹴り来る

敵の左足下より右足にて蹴り上げる。忽ち

左手にて敵の右手首表逆に持ち、

左足後方に引き投げ

敵 仰向けに倒る 右足蹴り込みに残り

コ  
上  
虎  
落

- ・敵 小刀 右手上段 斬り込み来る  
我れ左足一歩後方に体を転し右腕に  
受け急ぎ手首を掴む。同時に左手刀敵の  
右腹打込む
- ・敵 小刀 持ち 右手を引かんとす  
急ぎつけ込め敵の右手下くこりて敵の左に  
出て右手 ~~片手~~ 投げ  
片手
- ・敵 右手逆仰向けに倒れる  
右足蹴込んで 残心



齧 先

敵は右平小刀上段変化して右から斬り込む  
我れ完全身を落し左足引き同時に左尾にて  
敵の右腕を蹴上る

忽ち三指(三指)にて敵の候頸に突き当て

・敵は仰向けに倒れる

次に右足にて敵の胸部を蹴る

死心

かう  
櫛 (ハネツルベ)

敵 右手小刀斬込み来り

我 左腕にて受け忽ち袖相抱

右足蹴込込来り

我 左腕を落して右腕にて右受け急す

敵 御向方に倒れる

これは別々に書いてあるが互角一時の技で  
あり。 左手受け袖相抱下に引くと

敵の足を右手にて受け足をすくい上げ  
左足別々に坐す 三拍子一致

残心

シ  
獅  
エ  
猿

- ・敵 後方より 小刀突き来り  
左足一歩 左方にして 身を転じ 流れる敵の  
右手首を 持つ
- ・敵 手を離さぬ 茲に 右足を 蹴上げ 其左足  
下 へ 廻り (即ち 敵の 右側に 出る 其時は 右手を  
上 へ 上げる 事)
- ・敵 仰向けに 倒れる  
忽ち 左手を 添えて 敵の 右手表邊に 押す元  
位置に 転じ 左足を 坐す

石足 蹴 込んで 押す 心

オ  
崩  
ウ  
落

- ・敵 後方より 小刀 斬込 来り  
并に 左足 後方へ 引く 身を 転じ 右手にて  
敵の 右手首を (押えつけて 持つ) 忽ち 敵の 右腕  
右脇には さし込 込 込 左肩にて 松竹 折り  
敵 小刀 落さし せ  
左手 具のまま 敵の 首首を 持つ 忽ち 右手 刀にて  
敵の 顔面を 打つ 右手 敵の 右肩を 掴み  
左足 敵の 右足前 に出し 左足 尻 へ 引く
- ・敵 仰向けに 倒れる  
右足にて 蹴り 当てる

下略の巻

反應汎溢合掌水十字

武板行雲流水

シニン  
算

う  
雄

・ 敵 大刀 正に 振かんとする  
振

我れ 鼻の如く 敵の つか頭を 左<sup>手</sup>にて 押えり

・ 敵 一歩引いて 振かんとする

我れ 忽ち 右手 拇指にて 敵の 鼻下を 突く  
(敵・離れる)

忽ち つかを 右手にて 持って 一歩引くのと

同時に 我れ 刀を 振き 左手 刀身に 与え  
て 突きの 構

手 心

# シユニ 隼 足

- ・ 敵 大刀 正に 扱おんとす  
我 水 左手に こそ の 女日くつか 頭を 押える
- ・ 敵 右手にて 我 左手 打つ  
右手にて 刀の 後サヤを 持ち 左手にて 敵の 左手 握り  
持ち、右手を 上げるのと 丁度 敵の 左手を 刀の  
サヤで 押える。刀の つかは 敵の 左手を つかむ  
こととなる。
- ・ 敵 仰向けに 倒れ 刀で 押えらるる  
忽ち 右足にて 蹴込んで 倒し 押え捕る

一

一撃

振

一刀正に大上段に構える

これ忽ち(これは敵が大上段に構えるのと同じ)  
手にて敵の右肘を押えると同時に右平  
指にて敵の面部を突き当て右足にて蹴上  
りと同時

と仰向けに倒れる

と右足にて敵右足横竹折にて蹴る

亦法. 右足にて敵右足外側より  
大外の如く蹴り突倒す

カハイ  
魁

ソク  
足

又大刀 大上段切込み来る

我れ身体を左に転いかわす. 敵の一刀が  
横に流れる. 忽ち右足にて敵右手を蹴上  
りて飛ぶ

敵小刀毎に手をかへる

又手刀 敵右霞打ち

又 なるか

忽ち敵右腕肘関節を左手にて持て右足  
の外ごとの如く(？)敵をばたあける

又仰向けに倒れる

残心

コウ  
掬

リヤウ  
掠

敵大上段 斬り込みに来る

我れ身体を一步右足右によけてかわす

敵大刀左側に流れる 忽ち左手にて敵の右拳  
を相む、同時に右手敵の右腕肘関節を相む  
我が両足共敵の右横に流し捨身となる

敵仰けに倒れる

我忽ち起きて

残心

## 意合封

敵大刀気合と共に右横 薙ぎ斬り込みに来る  
我れ一步後方に飛び退く

敵再び大刀 大上段となる

我れ敵大刀大上段にする時、忽ち飛込仰

左腕受身の形となり

右拇指敵の左腕に当らば、忽ち右足にて  
蹴り倒す

退いて

残心



沈

雁

振技

あおめ

かま

敵大刀青眼に横えり  
我れ泪漉の構

忽ち正面から突き来る

我れ身を<sup>しあ</sup>決めて左に転ず敵の一刀  
右に流れる。左手にて敵の右手首を打ち  
相え

忽ち右手<sup>と</sup>添えて身を<sup>しあ</sup>決めて敵の刀持  
つ手を我頭上より左へ廻し左足引き  
出す

敵倒れ倒れる

右足蹴当て

残心

窗

盃

敵大刀 大上段斬込に来る

我れ左一手を転じ右手を敵のつば<sup>せんのくち</sup>あし身を  
押え つば上を指先で持つ。忽ち左手を  
敵の顔面に<sup>と</sup>碓のこりを引捕るのと  
同時

真剣捕りとも云う捕った一刀左手にて  
持つて横薙ぎに斬り倒る 残心